



またのがみ

第52号
 令和5年3月1日発行
 北野上公民館
 〒640-0442 海南市原野326-3
 ☎(073)488-0988

豊かな時間

北野上公民館長 宗 秀昭

大変厳しかった夏。新型コロナが拡がり、七月二十三日に予定していた「子ども夏まつり」は中止せざるを得なくなりました。楽しみにしていた子どもたちに残念な思いをさせてしまいました。

秋のスポーツ大会は室内のため、スポーツ委員の方々に協力いただき、ウォーキングに変更して開催しました。

私の孫は七月中旬に新型コロナに感染し、十日間の自宅待機となりました。私は濃厚接触者にならなかったのですが、地域の行事などいくつか欠席の連絡をしました。後日、感染を話すと相手からも「家族が」、「親戚が」、「私も」と聞き、拡がりを感しました。

マスクをはずして語り合える日が来るのを待ち望んでいます。

年末恒例の話題になった言葉を選ぶ「ユーキャン新語・流行語大賞二〇二二」の大賞はシーズン最多本塁打記録・三冠王に輝いた村上宗隆選手の「村神様」でした。

三省堂の今後、辞書に載ってもおかしくない言葉を選ぶ「今年の新語二〇二二」の大賞が「タイパ」でした。

「タイパ」はタイムパフォーマンスの略で時間的な効率を指すそうです。費用対効果を指す「コスパ」(コストパフォーマンス)にならって作られた造語だそうです。次々と世相を反映する言葉が生まれてきて理解が追いつきません。

動画の倍速視聴や映画を勝手に短くしてネット上に投稿する違法な「ファスト映画」もタイパ重視の表れだそうです。

背景にデータ流通量の爆発的拡大があげられています。コロナ禍も一因とされています。消費しきれ

ないほどの情報内容があふれると、行動を早く時間を有効に効率を上げようします。すればするほど忙しくなります。とどまる所がないといえます。

「コスパが重視され、タイパが言われ、スマホの普及、さらに円安や物価高によって大人も子どももますます余裕がなくなっているように思います。不安だらけの中に身を置いて、少ない手間、短い時間でよりよい答えを得たいと思う気持ちがあるを見逃している気がします。

自分の自由な選択のようですが、外部の誰かが作ったデータに乗って、しかも、現時点での手元にあるデータをもとに答えを導き出しているだけではないかと考えることも必要だと思います。

「コスパやタイパは、仕事だけでなく子育てや介護など生活のあらゆる領域に浸透しています。

私たちは地域で一緒に何かをする、助け助けられる、時には迷惑をかける事があっても「まあまあ」と許される、そんな時間をもにすることで何かを得てきました。しかし、一見無駄に見えたりめんどくさいと思うような行事や寄り合いの時間が減っています。

世代を超えて語り合う時間も必要ではないでしょうか。話していると「そっだったのか、初耳」とか「だからこうなんだ」、「昔の人はすごかったなあ」といった気づきや時間のつながりを感じます。

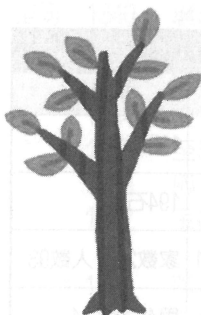
どんなことに出くわすのか分からないのが人生です。

効率とは違う所で豊かな時間のありようを探し続けるのが私たちのように思います。

公民館この一年

- 4月2日(出) 第1回学級・サークル代表者会
- 23日(出) 第1回推進委員会
- 5月14日(出) 生きがい教室・学級サークル開講式(落語)
- 21日(出)・28日(出) プランター作り(共)
- 22日(出) 大旗山登山(ふ)
- 6月2日(休) 学級・サークル開講
- 14日(火) 生きがい教室(映画)「RAILWAYS」
- 18日(出) 第2回推進委員会
- 7月2日(出) 推進委員環境整備
- 9日(出) 水鉄砲を作ろう(共)
- 12日(火) 生きがい教室(防犯)
- 17日(出) 海南市公民館大会
- 23日(出) 子ども夏祭り(中止)
- 8月27日(出) 生きがい教室(ヨガ)(中止)
- 9月6日(火)・27日(火) 生きがい教室(陶芸)
- 17日(出) 第3回推進委員会
- 24日(出) 第2回学級・サークル代表者会
- 10月8日(出)・15日(出) こども陶芸(共)
- 22日(出) 生きがい教室(ヨガ)
- 29日(出) 推進委員環境整備・スポーツ委員会
- 11月5日(出)・6日(出) 文化祭(中止)
- 5日(出)~18日(出) 作品展示会
- 20日(出) ソフトバレーボール大会(中止)
- 朝のウォーキング(原野・七山一・孟子地区)
- 26日(出) 生きがい教室(映画)「お終活」
- 12月4日(出) ニューススポーツ大会(中止)
- 9日(出) しめなわづくり(4年生・郷土史)
- 1月20日(出) 生きがい教室(健康)
- 21日(出) 第4回推進委員会
- 22日(出) 新春ハイキング(三野上共育コミュニティ)
- 2月3日(出) 生きがい教室(健康)
- 5日(出) 人権ふれあい集会(和太鼓演奏会)(ふ)(共)
- 19日(出) 歩こう会(ふ)(共)
- 26日(出) 海南市公民館芸能発表会
- 3月4日(出) 第3回学級・サークル代表者会
- 18日(出) 第5回推進委員会
- 29日(出) 生きがい教室閉講(遠足)

* (共) ななさと共育コミュニティ事業
 * (ふ) 地域ふれあい事業
 * 予定も含まれています



北野上をたずねて 第17号

郷土史サークル

昨年度の「明治以降の北野上」に続き、江戸時代までについて、海南市史・野上町誌・紀伊續風土記などをもとにして年表にしました。

資料は図書室に置いてありますのでご利用ください。

時代	西暦	年号	事項
旧石	13,000年位前		公民館裏と原野西原の代で石核と見られる石器見つかる。
縄文	12,000年位前		石鏃, 石錘(七山), 石鏃, 剝片(高津平), 石鏃(原野東原の代), 石鏃, スクレイパー, 石七, 剝片(原野大池), 石鏃, 石七, 剝片(原野西垣内), 砂岩製凹石(原野久保)が見つかる。
	2,800年位前		剝片(野尻大岩), 石鏃, 剝片(別院有井), 石鏃, 剝片(別院小池)を採取する。
飛鳥	703頃	大宝3頃	北野上地区は、那賀郡に所属する。(令の規定では、50戸を1里とし里長を置く)
	703	大宝3	「那賀・海草の二郡に布を止め、糸を献ぜしめた」(五月の条)とある。 ※野上地方から調として、糸・布を貢納。早くから棉栽培や紡織技術が普及していたことを示す。
奈良	715頃	霊龜1 天平	郷里制を布く。律令の里を郷に改称する。 潮音寺, 東向十一面観世音菩薩立像つくられた。
		年代不詳	潮音寺建立。末寺は12ヶ寺を数え、七山二の児童館は末寺の跡という。七山御門の地には、潮音寺の大門も建てられていたという。(伝承)
	740以降		郷一荘となる。北野上は、貴志川町や小川を含む野上町と共に神門(こうど)郷にある。
	815	弘仁6	弘法大師, 不動谷で修法の行をおこなう。
平安	863	貞観5	北野上を含む野上の荘, 石清水八幡宮の荘園となる。(護国寺建立に伴い, 基本的な荘園として税を免除)
	936		孟子奥ノ谷八幡宮を, 野上八幡宮の地に移す。
	987	永延1	石清水八幡宮の別宮として, 社職人を野上八幡宮に下す。野上郷七村の中に別院, 下殿(下津野)の村名見られる。(「野上八幡宮歴代記」)
	1022	治安2	国司高階成章のとき野上の地は, 貞観5年以来石清水の護国寺建立後の根本所領として認めて国司の立ち会いを受けない地=免税地=であることを保証された。(延久4年太政官牒「石清水田中家文書」)
	1025	万寿2	野上八幡宮の境内整備, 社領寄付, 荘官が下される。後一条院 放生会札8枚を建てた時, 一郷を追加したとある。この郷とは, 野上新庄といい柴目, 長谷, 七山のことである。(鎌倉期になって柴目荘として独立)
	1027	万寿4	石清水八幡宮が神職の中から検地職を派遣し, 五荘官などを任命して神事や荘園統治を担った役員の中に伴僧として下津野村西ノ坊, 別院村金剛遍寺, 番頭職・凶師として中原家(原野), 公文職として中殿(中村), 下殿(下津野)の名がある。
	1027	万寿4	上皇の詔により, 野上八幡宮で「放生会」を行う。石清水より運営・統治に当たらずため神職・役員を派遣。彼らを歓迎する祝賀式を岩井原(原野)で行った。(伝承) 別院に野上八幡宮の五ヶ院(金剛遍寺, 菩提寺, 万宝院, 成徳院, 井岡院)を建立。伴僧を置く。寺領として沖野々, 別院, 野尻, 孟子, 高津の各村を当てる。
	1028	万寿5	宣旨により野上荘は, 石清水八幡宮の基本的な荘園の1つであるとして, 官物, 臨時雑役を免除される。
	1029	万寿7	金剛遍寺(別院)が創建される。
		年代不詳	下津野逗留の宮のそばに, 八幡宮の大鳥居を建立する。
	1072	延久4	野上八幡宮が石清水八幡宮の荘園となる。野上荘の西限は玉河(別院), 北限は鷹栖蓮華宮(高津)とある。(「石清水田中家文書」)
鎌倉	1220	承久2	石清水の所領の一部として七重山村として村名が初出する。(「検校祐清讓状」(石清水文書))
	1223	貞応2	野上荘の現地役人として, 下殿村に番頭を任命するとある。(「野上荘下殿村番頭職補任状」(中原家文書))
	1333	元弘3	後醍醐天皇の「元弘の勅裁」により, 野上荘は高野山領になる。この後, 領地争い続く。
		鎌倉末	観音寺(下津野)開基
室町	1340	暦応3	政所平行光が鳥居社(現逗留神社)へ五反の田地を寄進する。(「中原家文書」)
	1346	貞和2	在原広行が, 下津野観音寺(下殿御堂)へ山を寄進する。(「観音寺文書」)
	1348	貞和4	このころ, 「野上合戦」がある。(南朝方に味方した勢力が北朝方と合戦する)
	1354	文和3	足利尊氏, 紀伊国野上別井(院)村地頭職を十住心院へ寄進。(「足利尊氏寄進状」)
	1385	至徳2	南朝方である篠ヶ城の楠木二郎正久を山名義理と弟の氏清が鎮圧, 530人余が討ち死。(「南狩遺文」)
	1425	応永32	小河荘に七山の村名があり, 一斗八升を負担したと記載。(「天野社一切経会段米納日記」(高野山文書))
	1452	宝徳4	野尻ノ道と鳥居という名で下津野村の小字名が見られる。(「野上荘下津野村地免注文」(中原家文書)) 下津野村で夫役免除の田地11筆を記したもの)
	1499	明応8	正善寺(原野)開基
	1541	天文10	根来僧兵の襲撃で野上八幡宮・別院の五ヶ院・逗留の宮・鳥居全てが焼失する。
安土 桃山	1585	天正13	秀吉の紀州攻めの時, 野上八幡宮も焼き討ちにあう。 篠ヶ城が秀吉に攻められたとある。(「口井文書」, 「孟子村七森八滝十三森」)

時代	西暦	年号	事項
江戸	1600	慶長5	浅野幸長が紀州に入国する。
	1601	慶長6	浅野幸長、検地を実施。基本的行政単位の村が成立。那賀郡内では口野上荘十二村(七山・原野・高津・孟子・下津野・野尻・別院・沖野々・木津・九品寺・中・椋木)である。蔵入地(御蔵所 藩主の直轄領)は野尻, 他は知行地(給所 家臣に与えられたもの)。七村の石高は, 2466石余。(「慶長検地高目録」資料①)
	1616	元和2	専念寺(七山二)開基
	1622	元和8	郡荘村の荘を組と変え, 所領編成替えをする。北野上の七村は紀州藩領野上組と位置づけられる。
	1626	寛永3	名草郡岡崎荘寺内村, 岡崎正等院(のち岩橋)根来同心拜命とある。(「岩橋家家系図」) 土橋東蔵院義雪, 根来同心拜命(のち木原)
	1631	寛永8	紀州藩家老三浦為時の知行地として高須村, 野尻村, 孟子村が記載されている。
	1641	寛永18	寛永の飢饉。紀州藩, 各郡奉行・代官に対して「百姓共に申聞条々」を申し渡す。
	1661	寛文元	専称寺(孟子)が開基
	1692	元禄5	実相寺(原野)寺号免許
	1696	元禄9	七山村が鎮守を勧請する。
	1711	宝永8	井澤弥惣兵衛が関東へ召された後, 大畑才蔵が那賀郡廻りで原野村, 高津村等を見聞(「大畑才蔵日記」)
	1722	享保7	儉約令を発する。
	1728	享保13	野尻村に「御留藪」があると記載されている。(「御領分諸色数并土地之事」)
	1752	宝暦2	極楽寺(野尻)に過去帳が見られる。
	1763	宝暦13	新田池(七山二)の堤の石灯笼の銘に「…宝暦一三末三月吉祥日」とある。新池, 高溝は嘉永・安政年間に築造されたという。
	1764	明和1	地蔵寺(高津)に過去帳が見られる。
	1766	明和3	藩が水車に冥加金を課すようになる。(七山村1, 孟子村2, 別院村1等野上組16)
	1771	明和8	土橋東蔵院, 御鳥見役となる。(「土橋家文書」)
	1790	寛政頃	野上川を使って, 村々が若山まで切木, 松葉など送っていた文書が見られる。
	1804	文化1	不動谷の道しるべ「右かまたき道 左いせ あらかわ道」に年号が刻まれている。
	1805	文化2	代官が, 野上組・貴志組・岩出組に対し, 農作業に差し支えるので農繁期には機留(はたどめ)をするよう命じる。
	1812	文化9	野上八幡宮の宮座を巡る争論が起こる。(「野上八幡文書」)
	1823	文政6	弱人普請として, 若山川の川浚え工事に各村から出る。
	1823	文政6	旱天を発端にして紀州百姓一揆が起こる。野上組では孟子村の酒屋が襲われ造酒諸道具を打ち砕かれる。野尻の川原で氣勢を上げるが説諭により引き取る。各村へ過料が申し渡される。
	1830	文政13	原野村の百姓が総(かせ)株免札, 孟子村で毛綿(木綿)株札(「勸農銀出入元帳一野上組」(野上八幡文書))
	1832	天保3	野尻村の百姓が人力絞油株を得る。
	1835	天保6	七村の石高は, 2633石余。(「天保郷帳」資料②)
	1839	天保10	七村の家数452戸, 人数1969人。(「紀伊統風土記」資料③) 「この地では…婦女農隙に紋羽を織を業とせり」(「紀伊統風土記」)とある。
	1842	天保13	高津村の百姓が毛綿株札(「勸農…」) この頃, 総(かせ)小売職の鑑札も
	1848	弘化5	石碑「法華経一字一石塔」(かいた橋南)に年号が見られる。
	1853	嘉永6	野尻村の百姓が「寒天根質物差上ヶ帳控」を残す。この頃, 下津野村でも寒天を製造 高津村に寺子屋が開かれる。 石碑「南無阿弥陀仏」(かいた橋北)に年号が見られる。
	1854	安政1	造酒屋は藩に冥加金を納めて酒を売ることができるようになる。
	1855	安政2	別院村に寺子屋が開かれる。
	1863	文久3	原野村の百姓が紺屋職株札を得る。 この頃, 木綿職, 古手職, 砂糖小売職の鑑札も得る。 孟子村の専称寺に寺子屋が開かれる。
	1864	元治1	七山村の百姓3人が総職, 毛織職の鑑札を得る。 野上組で作間稼ぎに造酒商売をする9人(2人が孟子・七山村)の百姓が藩に「乍恐奉願上候口上」を提出
	1867	慶応3	七村の人数(8歳以上), 男1086人, 女990人, 計2076人。(「野上組宗門御改人数増減帳」(野上八幡)資料④)
	1868	慶応4	七村の石高は, 2633石余。(「御高井村名帳」資料⑤)
明治		明治1	明治維新

江戸期の村 (海南市史 二より)

	七山	原野	高津	孟子	野尻	別院	下津野
資料①	637石余, 小物成7升6合	555石余	149石余 (三浦為時の知行地)	291石余, 小物成2斗9升8合 (三浦氏知行地)	157石余 (三浦氏知行地)	484石余	193石余
資料②	710石	559石余	212石余	313石余	158石余	487石余	194石余
資料③	家数154, 人数704	家数65, 人数235	家数73, 人数309	家数59, 人数327	家数28, 人数110	家数45, 人数191	家数28, 人数93
資料④	男401, 女400	男160, 女137	男139, 女127	男193, 女144	男47, 女54	男98, 女84	男48, 女44
資料⑤	710石余うち新田16石余	559石余うち新田2石9斗	212石余うち新田62石余	313石余うち新田20石余	御蔵所 (158石余, 新田1石余)	487石余うち新田3石余	194石余うち新田3斗余

地域ととも

北野上小学校 校長 桐山 知明



北野上は、四季折々の様相を呈する恵まれた自然に触れることができる、落ち着いた地域というだけでなく、地域の皆様が多方面から学校に関わりを持ってくださる素晴らしい地域です。本校教育の大きな支えとなっていることに、心から感謝申し上げます。

学校では、この三年間は新型コロナ感染症対策に追われる日々が続いています。子供達やご家庭のことを思うと、これまで実施してきた、たくさん活動が、中止または縮小せざるを得なかったことを大変残念に思っています。

しかし、このような苦しい状況下にも、地域の皆さんとともに公民館活動等にお呼びいただく中で、常に子供の行事について提案や説明を熱心にしていただきました。恥ずかしながら、私自身あまり経験のないことが多く、大変勉強になった次第です。

時節柄、野外での活動については、特に積極的にお世話いただきました。例えば、サツマイモの栽培については、畑の提供からトラクターでの畝作りまで、子供達が限りある時間の中で少しでも体験活動ができるよう準備してくださいました。至れり尽くせりにならぬよう、世話の苦勞なども適宜体験させるようにアドバイスもいただき、体験学習として大変ありがたいも

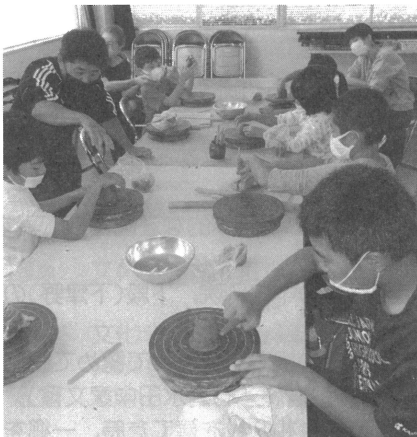
のでした。同様に、歩くことにも積極的な誘いがありました。

多くの児童が参加した休日のウォーキングでは、大人の方々と地域をめぐり、大昔の道しるべや古道など新たな発見がありました。事前に、孟子の山道の手入れをしていただくなど、安全にも気をつけてくださったおかげで、全学年山越えでのピオトープ遠足、地区最高峰「大旗山」登山も実施可能となり、アドベンチャー体験が実現しました。そのほか、校内では「しめ縄作り」は毎年恒例ですし、今年度は実現できませんでしたが、小学校での「夏祭り」も子供達は心待ちにしています。

一方、海南市では早期に児童一人一台のパソコンが与えられました。時代はハイテク化してきますが、これも、地域ならではの、開かれた人と人とのコミュニケーションがあつてこそ、バランスのとれた教育となります。

現在、全校児童七十一名は、元気に地域を通学します。見守り活動を続けていただいている皆様、あいさつを交わしていただく皆様にあたたかく見守られながら、子供達は安心して活動を続けられています。

今後とも地域の皆様のご支援をいただきながらの様々な活動の広がりを願っております。よろしくお願い申し上げます。



こども陶芸教室



令和4年度 推進委員のみなさん (R4.4.23撮影)

新刊図書

- 塞王の楯 ● ミシンと金魚 ● コーリング・ユウ ● カレーの時間
- 80歳の壁 ● 宙ごはん ● 三体 ● 方舟
- あいたくてききたくて旅に出る ● マイクロスパイ・アンサンブル
- もうひとつの曲がり角 ● 同士少女よ敵を撃て ● ライオンのおやつ
- 香君 上下 ● 和歌山県の山 ● 底惚れ
- 心あたたまる老人ホームのお話 ● 涙がこぼれる老人ホームのお話
- おいしいごはんを食べられますように ● あしたの幸福 ● ガリバー旅行記
- スモールワールズ ● 夜に星を放つ ● 家族じまい

編集後記

第52号の公民館報をお届けします。活動が制限される中、精一杯のご協力をいただき感謝申し上げます。